

会報 エコネットはんのう

編集・発行／はんのう市民環境会議

平成16年度総会を開催しました

はんのう市民環境会議の平成16年度総会が6月20日（日）に富士見公民館集会室において、多くの会員の皆さんの出席のもと、盛大に開催されました。また、総会には、沢辺飯能市長、浜中市議会議長を来賓に迎え、ご祝辞をいただきました。

総会では、平成15年度の事業報告、収支決算の承認に続き、平成16年度新役員の選出、事業計画案、収支予算案を審議し、全ての議案について原案どおり議決されました。

平成16年度は、「はんのうの環境を見る、知る、感じる」を活動のテーマとし、自然環境部会、生活環境部会、地球環境部会の3部会が中心になって、活動を進めていきます。また、会の全体事業として、会報の定期的な発行のほか、環境フォーラムや環境学習会などの開催を予定しています。

総会終了後には、3部会に分かれ、意見交換や勉強会が行なわれ、多くの方々から有意義な意見や提案がされました。



ごあいさつ（要旨）

会長 栗原 知司

総会の開催に際して、ごあいさつ申し上げます。

はんのう市民環境会議が、昨年11月24日に発足し、早くも半年が経過しました。発足当初は、261名であった会員数も、総会時点で349名と100名近くも増え、市民の関心の高さがうかがえます。

平成15年度は実質的な活動を行う専門部会づくりを進め、自然環境、生活環境、地球環境の3部会を立ち上げました。今後、皆様にご参加いただき、活動を展開してい

きます。また、活動の進展によっては、新たな専門部会の創設もあり得ます。様々な分野、活動を進めていきたいと思ひます。

本会議は、「できることからはじめよう」を合い言葉に発足しました。当初は身近な問題から取り掛かり、日頃の活動が続ける中で会員同士がお互いに勉強、啓発をしい、個々の資質を高め、視野を広げ、そして、また新たな分野の活動に取り組んでいく、このようにして活動を広く、活力あるものにしていきたいと思ひます。

そのためにも、会員の皆様の絶大なるご協力をお願いするとともに、市の力強いご支援をお願い申し上げます。

新役員が決まりました

新役員が決まりました。これから新役員を中心に会の運営を進めていきます。皆様のご協力をお願いします。

◎はんのう市民環境会議役員

会 長	栗 原 知 司 (団体・西川広域森林組合)
副会長	木 川 一 男 (市民)
	青 木 徳 治 (団体・飯能市自治会連合会)
委 員	伊 藤 知 夫 (市民)
	田 中 崇 之 (市民)
	高 沖 義 則 (市民)
	澤 田 富 士 彦 (市民)
	服 部 融 亮 (市民)
	南林さえ子 (駿河台大学教授)
	木 崎 幸 長 (団体・飯能商工会議所)
	山 崎 英 夫 (団体・飯能市商店街連盟)
	浅 野 正 敏 (団体・天覧山・多峯主山の自然を守る会)
	新 井 康 夫 (団体・飯能河原を守る会)
	古 谷 忠 洋 (団体・飯能市農業青年会議所)
	鴫 田 節 男 (団体・飯能市合併処理浄化槽組合)
	齋 藤 実 (事業者・有限会社 飯能清掃センター)
	三 宮 秀 明 (事業者・新電元工業 株式会社)
	町 田 晋 (事業者・株式会社 丸広百貨店飯能店・東飯能店)
監 査	早瀬あかね (市民)
	間 辺 元 幸 (市民)

事業計画・予算のあらまし

平成16年度の事業計画、収支予算が総会において決定されました。

(1) 事業計画

「はんのうの環境を見る、知る、感じる」ことをテーマに活動を進めます。

自然環境部会、生活環境部会、地球環境部会の3部会が中心となり、環境の現状を知ることにより重点を置き、活動を進めます。

活動目標を実現するため、各専門部会の取り組みのほか、全体事業として環境フォーラムや環境学習会などを開催し、環境に対する全市的な意識啓発を行います。

また、会報を定期的に発行するための組織として広報委員会を設置します。広報委員会では、会報発行のほか、ホームページの開設について検討します。

(2) 収支予算

今年度の収支予算を98万2千円とし、主に部会活動やイベント事業などに使用します。



専門部会活動について

専門部会の平成 16 年度活動内容をご紹介します。会員の皆さんは、どの部会の活動にも参加できます。皆さんのご参加をお待ちしています。

(1) 自然環境部会

市民に飯能の自然を知ってもらうため、今年度の事業目標を「現状の飯能の自然を知る」とし、活動を行っていきます。

- ①自然観察会を年 4～6 回実施する。
- ②自然環境について活動している個人・団体を発掘し、連携をとる。
- ③飯能市の自然環境についての情報収集を行う。

(2) 生活環境部会

生活に密着した身近な環境問題に目を向け、多岐にわたる生活環境の問題を明確な意識として会員同士が共有できるよう、KJ 法による「ワークショップ」を開催し、生活環境の問題点や部会の方向性を見出していきます。また、ワークショップから気づいたこと等を踏まえ、身近な環境問題について観察や調査をしていきます。

(3) 地球環境部会

資源循環型社会の実現に向け「ごみの減量化」や「省資源・省エネルギー」など生活に密着した活動を展開し、地球温暖化や資源枯渇の防止に結びつけていきます。

- ①クリーンセンター見学会を 3～4 回実施する。
- ②環境学習会を年 2 回実施する。
- ③環境ネットワークづくりを行う。

部会活動報告（4 月～6 月）

- ・ 4 月 24 日（土） 専門部会懇談会の開催（場所：市役所 501 会議室）（延べ 118 名参加）

自然環境部会、生活環境部会、地球環境部会の 3 部会の懇談会をそれぞれ開催し、部会の趣旨説明のほか、平成 16 年度の活動内容などについて意見交換を行いました。

- ・ 5 月 29 日（土） 自然環境部会の開催（場所：中央公民館ほか）（36 名参加）

飯能河原から緑のトラスト地にかけての自然散策会を実施し、身近な自然を観察しました。散策後、意見交換会を行いました。

- ・ 6 月 20 日（日） 専門部会懇談会の開催（場所：富士見公民館）

☆自然環境部会（36 名参加）

会員「天覧山・多峯主山の自然を守る会」の自然調査活動発表の後、意見交換を行いました。また、次回以降の取組事例発表団体の募集と自然観察会への参加を呼びかけました。

☆生活環境部会（15 名参加）

犬のフン、タイヤ等の不法投棄、公園や河川敷のごみ、直火バーベキュー等への取組事例が発表され、今回は、ワークショップを開催し、活動内容を検討することが決まりました。

☆地球環境部会（16 名参加）

クリーンセンター見学会や環境学習会などについて討議しました。地元企業の「環境への取り組み」をテーマにした講演会や懇談会の開催を、今年度の具体的テーマとして計画することにしました。



自然環境部会



生活環境部会



地球環境部会

7月、8月の予定

各部会の7月、8月の予定をご案内します。皆さんの参加をお待ちしています。
各部会の活動日時、場所、内容をお間違えないようご注意ください。

・7月

22日(木) 地球環境部会開催

時 間：午後7～9時(申込不要、直接会場へ)

場 所：富士見公民館第1学習室(住所：双柳1-16【市役所北側】)

内 容：活動に向けての意見交換

23日(金) 生活環境部会開催

時 間：午後7～9時(要申込、7月20日までに環境緑水課へ)

場 所：飯能幼稚園(住所：山手町9-14)

内 容：ワークショップ(生活環境に関する課題を出しあい、皆で討議します。)

申 込：希望者は市役所環境緑水課に電話、ファクス等でお申込みください。

その他：参加者は当日、飯能幼稚園にお集まりください。

24日(土) 自然環境部会開催

時 間：午後1時30分～3時30分(申込不要、直接会場へ)

場 所：富士見公民館 第2学習室(住所：双柳1-16【市役所北側】)

内 容：エコツーリズムについて学ぼう

・8月

6日(金) 地球環境部会開催

時 間：午前9時30分～12時(要申込、8月3日までに環境緑水課へ)

場 所：クリーンセンター(住所：下畑768-1)

内 容：施設見学会、意見交換会

申 込：希望者は市役所環境緑水課に電話、ファクス等でお申込みください。

その他：参加者は当日、クリーンセンターにお集まりください。

8日(日) 自然環境部会開催

時 間：午前9時30分～午後2時30分(小雨決行)(申込不要、直接集合場所へ)

集合場所：市民会館北側 中央公園トイレ付近

内 容：自然観察会「水辺の生き物発見！」

岩根橋から吾妻峡まで水辺の生き物を観察し名栗川上流へ

持ち物：弁当、水筒、筆記用具、帽子、ぬれてもいい運動靴、短パン

参加費：保険料1人100円

共 催：天覧山・多峯主山の自然を守る会

23日(月) 生活環境部会開催

時 間：午後7～9時(要申込、8月20日までに環境緑水課へ)

場 所：飯能幼稚園(住所：山手町9-14)

内 容：ワークショップ(生活環境に関する課題を出しあい、皆で討議します。)

申 込：希望者は市役所環境緑水課に電話、ファクス等でお申込みください。

その他：参加者は当日、飯能幼稚園にお集まりください。

はんのう市民環境会議

事務局 飯能市市民生活部環境緑水課

住 所 〒357-8501 飯能市大字双柳1-1

電 話 042-973-2111

ファクス 042-974-6737

Eメール kankyo@city.hanno.saitama.jp

会員数(平成16年7月1日現在)

350名

内 訳

個 人：300名

事業所：33名

団 体：17名